

## 不適合情報

2024年12月16日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	放射性廃棄物処理設備区域給気冷却加熱器の通水切替において、原子炉建屋最上階の所内温水系サージタンク排水管からの漏えい(約80cc)を確認した。排水系統を確認したところ地下4階南西側の排水柵にも漏えい(約100リットル)があることを確認した。調査の結果、通水切替時における弁開閉操作の不備によるものと判明。切替操作を中断し操作前の状態に復旧。当該事象の原因を調査。なお、漏えいした水は汚染のない系統水のため、拭き取りにより処理済み。	2024/12/11	
2	3号機	循環水ポンプ吐出弁ビット排水ポンプ制御盤に、異常を示す警報の発報を確認した。現場を確認したところ、ポンプが運転しているにもかかわらず排水されていないことを確認。ポンプシャフトおよび排水配管の詰まりと推定。当該部を清掃。	2024/12/10	
3	6号機	放射線透過検査のため、原子炉建屋3階南東側のエリア放射線モニタによる測定を停止した。測定員は検査完了後に当該モニタによる測定が開始されるものと思い込み、代替測定を実施しなかった。その後、作業終了後も当該モニタの停止が継続していたことが判明。その結果、社内マニュアルで定めている放射線管理区域の放射線量測定(1回/日)について、1日分の代替測定が実施されていなかったことを確認した。なお、この事象による影響評価を行い作業員の被ばく事象が発生していないことを確認済み。	2024/12/09	